

大学生による空き地や空き家を活用したまちづくりデザイン提案発表会

| | |
|-----------|---|
| 対 象 エ リ ア | 大野市大野地区 |
| 日 時 | 平成24年7月27日（金） 15:00～17:00 |
| 開 催 場 所 | 学びの里めいりん ランチルーム |
| 対象者（人数） | 大野地区の住民 参加者50名 |
| 主 催 | 福井県 |
| 協 力 | 福井大学工学部建築建設工学科 社団法人 福井県建築士会 大野市 |
| 発 表 者 | 福井大学工学部建築建設工学科 3年生 14名 |
| ね ら い | 人口の減少や高齢化の進展等により、大野のまちなかで空き家や空き地が増加し、地域コミュニティや景観の喪失などの問題が生じている。そこで、学生に大野の地域特性を活かした空き地・空き家の活用策を提案してもらい、地区住民の方々と意見交換を行うことで、空き地・空き家の活用の参考としてもらう。 |
| テ ー マ | 「空き地や空き家を活用した魅力ある生活環境の実現」 基盤目状に街路が構成され、南北に用水路や背割り水路が走っている大野地区の特徴を活かし、新しい住まい方やまちなか住宅の提案など、様々な視点から空き地や空き家を活用した市街地の再生を提案する。 |
| プ ロ グ ラ ム | 1. 4グループに分かれ、提案発表 発表学生14人を4グループに分け、模型などを利用して提案を発表する。発表内容について、住民と意見交換などを行う。 2. 代表4人による全体発表 それぞれの班で一番良い提案を選び、全員の前で改めて発表する。 3. 講評等 提案内容について、住民と意見交換や感想などをもらう。 |
| 準 備 物 | ・発表提案パネル、模型 学生が製作 ・有孔ボード 提案パネルを貼り付けるための物 など |



大野地区は、1580年に金森長近により天守閣が築かれたことに始まった。碁盤目状に街路が構成され南北に用水路や背割り水路が走っている。400年余りを経た今でも、その町並みが残る歴史と情緒あふれる町となっている。しかし、写真のように昨今では空き地や空き家が増加してきて、地域コミュニティや歴史的景観が喪失しつつある。



最初に、今回の開催趣旨などを説明した。その後、大学で授業を担当された福井大学工学部建築建設工学科の野嶋慎二教授から、デザインテーマ等の説明をしてもらった。



4グループに分かれて、学生が提案内容を披露し、それに対して住民の方と意見交換を行った。



まちづくりに活かそうと、地区住民の方は学生の提案に真剣に耳を傾け、積極的に意見交換などを行っていた。



最優秀賞を受賞した、「ひとやすみ」の提案風景。
まちなかの空き家に図書館や食堂、ホールなどを設け、憩いの空間とする提案をしていた。

参加者の意見・感想など

- 空き家が増える原因として、地主と家の持ち主が違うという現状がある
- 空き地や空き家があると寂しいので、有効活用できることに期待したい
- 資金に乏しい若者達に、低価格で自由な発想を用いて起業するカタチがあれば、若年層の集約ができるのではないだろうか
- 防災ポケットパークの提案は、今の時代に必要性があることだと思う
- 現実的ではない発想もあるが、良く調べて先を見据えたプランに驚いた